

目 次

道	1	特別の中の特別	26
海	3	信仰者	27
夢	4	揺れて終わらないために	28
エプロンは微笑った	5	大きな問題	29
土を掘る	6	説 教	30
弱さの力	7	時を越えて	31
快 晴	7	十字架を見よう	32
日 々	8	五 月	33
毎 日	8	互いに	34
一 番	9	恵みの朝露	35
ゴルゴタの宝石	10	やっぱり いっぱい	36
メメントモリ	11	季 節	37
天を見上げて生きる	13	不思議な救いの計画	38
我 慢	14	愛の陽	39
今日は	14	十字架と復活	39
神のご命令	15	絵	40
慎重に 丁寧に	16	自 戒	41
一つのこと	17	願 い	42
失 敗	18	傷	43
見つける	19	主は見てくださる	43
愁 い	20	癒やすものは	44
逆さま	21	追 憶	45
錯 覚	22	知 る	46
問 い	24	美しい神	48
いただいて	25		

四 季	49
木	51
どこを開いても	52
奥 義	53
聖書のメッセージ	54
曇りの時の祈り	55
それぞれの時に	56
歩 み	58
安らぎ	59
今 この時に	60
花	61
とにかく祈ろう	62
不機嫌	62
一本の常緑樹	63
聖書の中に	64
それだけで	65
行き着くところはイエスさま	66
変 化	67
命あるもの	68
ひとこま	69
そうだから	70
目	71
耐える	72
日暮れの空	74
程良さ	75

課 題	76
すべての事の	77
告げる	78
侘しさ	79
今を生きる	79
人の世	80
受 容	81
懇 願	82
桜 雨	83
祈 る	84
ご降誕	85
苦しみ	86
結 果	87
まさかの	88
警 戒	89
草の花	90
現代社会	90
雨	91
新 緑	91
慣れる	92
マイペースで	93
ボタン	94
時 間	95
良い人生	96

道

歩いているのは誰ですか

「私です」

どこまで行くのですか

「定かではありませんが

まだ道が続いているので歩いて行きます」

その道をどれくらい歩いているのですか

「ちよつと計れないのですが

もうかなり長く歩いています」

ここまで来るのに道が幾つも

あつたのですか

「いっぱいありましたが

振り返って見たら一本の道でした」

その道はどんな道でしたか

「平坦でまっすぐな所もありましたが

曲がりくねっていたり

石ころだらけの道や砂地もあり

険しい山道や坂道 泥道も

結構ありました

狭くて暗い危険な所も幾つかありました」

「道端に花がいっぱい咲いていて

小鳥の声が聞こえる平原の道もあつて

涼風に吹かれて

うとうとしそうになったりもしました

この道を行けば

間もなく広い街道に出るに違いないと
思っていたら

いつの間にか谷に降る道に入っていました

あわてて引き返そうとしたのですが

だめだったので

がまんして谷の道を歩き続けていたら

そのうち明るい道が見えてきました」

あなたの足と心もずっと一緒

だったのですか

「そうですね はぐれてしまったり

反対方向に行こうとしたり

泣いたり怒ったり

抗議したり尻込みしたりで

困ってしまうこともありましたが

とにかく何とか

ここまで付いて来てくれました」

その道は良い道でしたか

「そう思っています

ここまで無事に来れたのですから

やっぱり良い道だったと思います」

これからもその道を歩いて行くのですか

「はいそのつもりです

それが天が私に備えた私の道ですから」

行き着くところはイエスさま

やっぱり行き着くところはイエスさま
救い主なるイエスさま

風の強さに悩まされ 疲れるときも
雨に打たれて泣くときも

心身の痛みや他からの棘に苦しむときも
逃れて行けるところはイエスさま

そこに行き着くまでは

暗い夜道を震えながら歩くような心地で
寒くて 辛くて 苦しくて

悲しくて 寂しくてやり切れなくて
信仰も祈る力もなくしてしまいそうに

なつてしまった時も 気を取り直し

必死にイエスさまのお名前を呼んだら
心に光が射してきて

みことばを頼りに

イエスさまの温かいみ手に触れたら
希望と信仰と平安を取り戻すことができた

どんなときも

行き着くところはやっぱりイエスさま
とにかくイエスさま

良い人生

人生にはいろいろある

辛い事悲しい事困った事

嫌なこと

いろいろあるのが人生だ

悲しくなったら涙を流し

寂しくなったら空を見上げ

辛くなったら嘆いたりつぶやいたりして

しまつても

嫌になつたらいつ時投げ出して

しばらく休んで

祈つて大丈夫になつたら

また気をとり直して

主のみ手にすがって歩き出せば
いいから

どんな時も主に赦されて守られて

助けられて生きて行ける

イエス様を信じる良い人生

あとがき

この詩集は、自分の体験からだけでなく、友人、知人や周囲の人々から見聞きしたことで、考えさせられたこと等を詩の形にしたものです。

特に人生の諸問題や信仰の歩みにおいて教えられたこと、気付いたこと等を中心に書きました。

読んでくださる方々に共感していただけるものがあり、何かの励ましに役立ちますなら、幸いに存じます。

T・N

「試し読み」はここまでです。

お気に入りでしたら

ご注文ください。



Penguin Club
www.penguinclub.net